

拡大の花を添えた

第6回定期大会

新潟地本は7月28日、第6回定期大会を新潟駅大会議室において開催した。地本執行部を代表し挨拶に立った神田委員長は、25日に営業職場で仲間が新たに加わったことを紹介し、「多くの職場で不安な気持ちでいる賛同者に胸襟を開き、共に進むべき道、姿を示し更なる団結の輪を構築しなければならない」と組合員に訴えた。

また、本部を代表して出席した菅野委員長は、組織拡大に感謝するとともに「私たち自身の組織の展望と会社の将来を創り出すため更なる拡大をお願いしたい」と、組織拡大への強い思いを明らかにし、さらに「本部大会において皆さんと確認しあった“約束”を守りあっていこう！」と、今一步前に出た行動の展開を要請した。

質疑

◇社員会のようなものが職場にできた。組合を不要としているのか。職場では提案内容が決定事項のように掲示されている。

◇技術継承というが、見習を終えたばかりの人に見習を付ける状態で、仕事の基準が曖昧になっている。言われた事だけをやるだけ。

◇新潟駅立体交差工事の問題点が多数出てきている。団体交渉の際にでも質してもらいたい。

◇今回の組織拡大に、村上分会としてもバックアップ等を考えて活動していきたい。今が一番チャンスだと思うので、具体的な指導をお願いしたい。

◇越後湯沢保線技術センターがエリアセンターになり、28名の社員から10名へと減ったが作業量は変わらない。社員の中には7月の超勤が40時間を超え50時間に達しようという人もいる。今後の動向を見ながら問題点等を集約して、地本や本部にご協力をお願いしていきたい。

熱烈歓迎！

村上分会に赤塚一浩さんが加わりました。新潟地本全体で心から歓迎します。ともに頑張りましょう！



ご来賓の皆さま、お忙しいところありがとうございました。

(左から) 連合新潟・牧野会長、
県交運労協・小熊議長、交運共済
東日本事業本部・松井本部長

絶妙に大会を仕切った木村議長、お疲れ様でした。



**J R民主化の戦いは本丸にきた！
一日一日真剣に前向きに
努力した結果が来年につながる！
全員心を一つに
拡大一つで団結して頑張りよう！**



◇新潟駅ホームの安全に疑問がある。緊急時などでも駅の輸送センター等呼び出す機器が全くない。JNB社員か階下の改札口社員に連絡するようと言われていた。組合から何とか言ってもらいたい。また、東跨線橋から在来線ホームへ向かうところには案内の電光掲示板が一切ない。その辺の改善もお願いしたい。



◇我々は人間性を大事にしてきた労働組合である。主義主張も大事だが、横のつながり、皆のつながりを大切にしていきたい。また、中央本部からの指令も大事であり、中央本部役員それぞれに違いはあるかと思うが菅野委員長を中心に横のつながりを大事にして組織運営をしていてもらいたい。各地方本部はそれに従って組織拡大につなげていくと思っている。



菅野本部執行委員長

○労働条件や労働関係に関わるものは組合にしか解決できない。それを意識して地方本部で取り組んでもらい、地本で出来ないものは本部・本社間でしっかりやっていきたい。



○中央本部と地方本部のつながりを良くしようという事で、本部執行委員に地本役員を兼務してもらうことにした。本部での話がしっかり地本につながる様にしていくので、地本にもご協力をお願いしたい。



○JR連合の松岡会長に民主化闘争支援のお願いに伺ってきた。今後、一気に組織が増え始めた時の対応も含めて了承いただき、「早くそうなるように頑張れ」と言われた。本部も、あらゆる組織、上部産別の団体なり政治なり、当然本社にも労働組合の大切さを訴えながら交渉を含めてやっていきたい。

応答

瀬藤組織部長

○システムチェンジの関係で仕事のやり方が変わっていく状況のなか、労働組合の存在を実感する人もいるのではないかと。今度とも社員会の人たちを対象に組織拡大につなげていきたい。

○技術継承の関係、設備だと7年で一人前になると言われるらしい。その中堅が若い人たちに仕事を教えていく方針とのことであるが、中堅と言えども技量的に足りてない方、見ていて面映ゆい部分もあると思う。頑固親父としてモノ申していくのが我が組合のスタイル、嫌われても言い続けてもらいたいと思う。

○具体的な指導をということでは、拡大分会代表者会議を毎月予定している。代表者が分会の中で会議の中身などを共有してもらいたい。会議に出ている人だけの活動ではなく、全員が情報共有した中での組織拡大をお願いしたい。

金田業務部長

○新潟駅立体交差工事関係は、案内設備が悪いなど大変苦情の多い状態になっている。新駅になって約三カ月、この間のお客様からのご意見ご要望、また組合員の皆さんのご意見などを集約して申入れしたい。

○越後湯沢エリアセンターの問題も、問題点などを具体的に上げていただきたい。両方とも冬期前に会社へ問題点を全部上げていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

集約答弁 池田事務局長

○新潟駅の現状に対する質疑があった。これは労働組合としてのチェック機能を、責任組合である東労組が果たしてこなかった結果であると思う。問題点については勤労を通してきっちり言っていきたい。

○社員としての残り年数もない人は自分の事しか考えられない人が多くなるが、我が組合員は二十数年間叩かれながらやってきた同志と言えるもので、組合への愛着といえるものがキチッと残っている。本部の菅野委員長は「組織は高齢化して小さくはなってきたけれども、ずっとこの二十数年間ブレずにある。これを誇りに思って活動してもらいたい」と言っている。組織がある以上はまだまだ先があるし、そういった意味でも一人ひとり頑張っている人たちを充分取れるだけの道筋は付けてある。今後も皆で汗を流し語り合いながら組織拡大をやっていこう。



上杉知之
県議会議員



渡辺和光
市議会議員



市川政広
民社協会会長

大会終了後、私たちの組合をご支援くださる方々を交えて懇親会を開催しました（小島晋県議会議員、南まゆみ市議会議員は所用のため欠席の旨の連絡をいただいています）。私たちは期待に応えるよう組織拡大に努力するとともに、より良い“ふるさと新潟”にしていけるため、ご支援くださる皆様を全力で応援していきましょう！